美幌町における景気動向調査報告書
＜第Ⅰ四半期＞

美幌商工会議所

Ⅰ．調査要領

１．調査時点及び調査対象期間

（１）調 査 時 点　令和４年４～５月

（２）調査対象期間　令和４年１～３月期実績及び４～６月期の見通しについて調査した。

２．調査対象及び調査方法

（１）調 査 対 象

会員事業所の中から小売業３５社、卸売業１０社、建設業２０社、製造業２０社、サービス業３５社(飲食１５社・飲食以外２０社)の５業種１２０社を対象とした。

（２）調 査 方 法

調査対象に対し調査票を送付し、FAX または訪問による聴取により回答を頂いた。

３．業種別回答状況（事業所数）

企業数 ＼ 業種	対象企業数	回答企業数	回答率
小売業	３５事業所	３３事業所	９４．３％
卸売業	１０事業所	６事業所	６０．０％
建設業	２０事業所	１６事業所	８０．０％
製造業	２０事業所	１０事業所	５０．０％
サービス業	３５事業所	２６事業所	７４．３％
合計	１２０事業所	９１事業所	７５．８％

○ 本調査結果中の「Ｄ・Ｉ」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

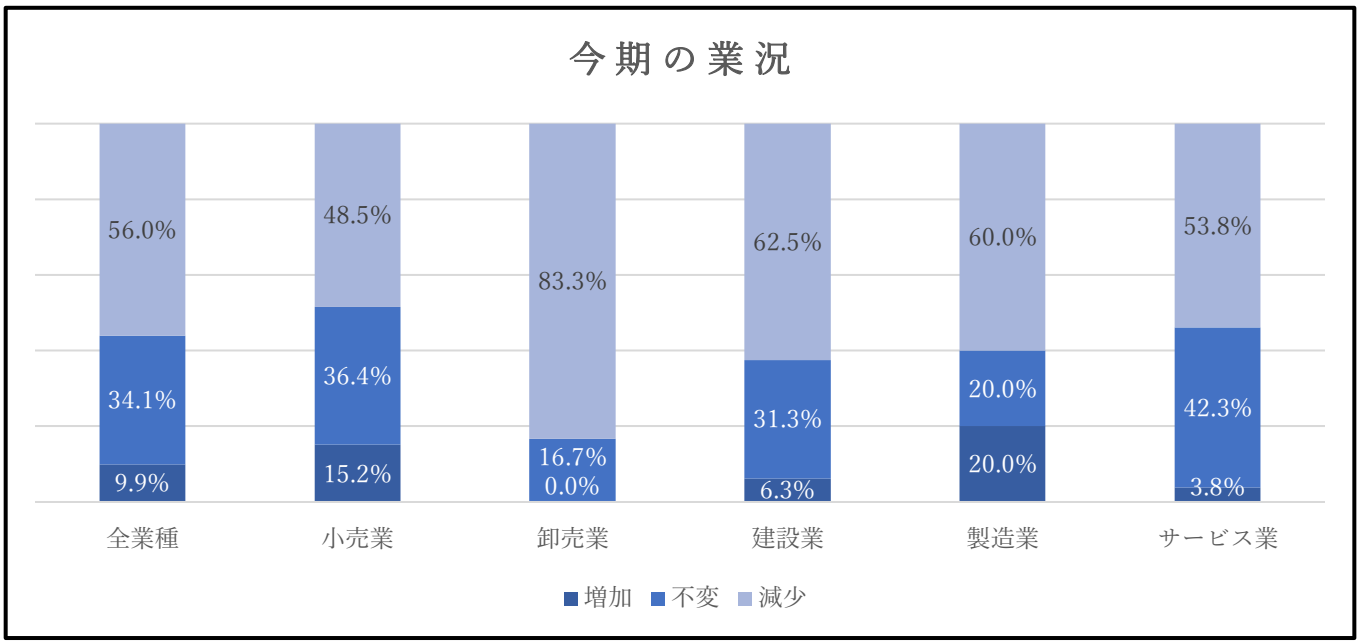
Ⅱ．概況　≪全体の動き≫

令和４年Ⅰ四半期（１月～３月）の美幌町における業況は、全業種で見ると前年同期比で「好転した」と答えた企業割合が９.９％、「悪化した」と答えた企業割合が５６.０％、「好転」から「悪化」を差引いたＤ・Ⅰ値は△４６.２となっており、来期（４月～６月）業況の見通しを全業種で見ると「好転する」と答えた企業割合が１９.８％、「悪化する」と答えた企業割合が４４.０％であり、Ｄ・Ⅰ値△２４.２となっており、今期と比較すると２２.０ポイント改善する見込みではございますが、未だＤ・Ⅰ値はマイナスであります。

全業種において、「資材・商品等の値上がり」、「値上がりに伴う経費増加」が経営課題として多く回答がありました。その中でも特に小売業、サービス業については「自社の商品やサービスへの転嫁を行っていきたいが希望通りにできない」という回答が寄せられております。

業種別ＤＩ

業況（％）	今期（令和４年１月～３月）の実績（前期比）				令和４年４月～６月の見通し（今期比）			
	好転	不変	悪化	ＤＩ値	好転	不変	悪化	ＤＩ値
全業種	9.9	34.1	56.0	－46.2	19.8	36.3	44.0	－24.2
小売業	15.2	36.4	48.5	－33.3	21.2	24.2	54.5	－33.3
卸売業	0.0	16.7	83.3	－83.3	50.0	33.3	16.7	＋33.3
建設業	6.3	31.3	62.5	－56.3	31.3	25.0	43.8	－12.5
製造業	20.0	20.0	60.0	－40.0	10.0	40.0	50.0	－40.0
サービス業	3.8	42.3	53.8	－50.0	7.7	57.7	34.6	－26.9



売上高(%)	今期（令和４年１月～３月）の実績（前期比）				令和４年４月～６月の見通し（今期比）			
	好転	不変	悪化	ＤＩ値	好転	不変	悪化	ＤＩ値
全業種	11.0	31.9	57.1	－46.2	22.0	35.2	42.9	－20.9
小売業	18.2	27.3	54.5	－36.4	21.2	27.3	51.5	－30.3
卸売業	0.0	16.7	83.3	－83.3	33.3	50.0	16.7	＋16.7
建設業	6.3	18.8	75.0	－68.8	37.5	25.0	37.5	± 0.0
製造業	10.0	40.0	50.0	－40.0	10.0	40.0	50.0	－40.0
サービス業	7.7	46.2	46.2	－38.5	15.4	46.2	38.5	－23.1

※建設業は「完成工事高」、製造業は「生産高」を示す。

在庫水準(%)	今期（令和４年１月～３月）の実績（前期比）			
	好転	不変	悪化	ＤＩ値
全業種	6.1	51.0	42.9	－36.7
小売業	9.1	48.5	42.4	－33.3
卸売業	0.0	66.7	33.3	－33.3
建設業	－	－	－	－
製造業	0.0	50.0	50.0	－50.0
サービス業	－	－	－	－

採算（%）	今期（令和４年１月～３月）の実績（前期比）			
	好転	不変	悪化	ＤＩ値
全業種	8.8	33.0	58.2	－49.5
小売業	9.1	30.3	60.6	－51.5
卸売業	16.7	16.7	66.7	－50.0
建設業	12.5	12.5	75.0	－62.5
製造業	10.0	20.0	70.0	－60.0
サービス業	3.8	57.7	38.5	－34.6

資金繰(%)	今期（令和４年１月～３月）の実績（前期比）				令和４年４月～６月の見通し（今期比）			
	好転	不変	悪化	ＤＩ値	好転	不変	悪化	ＤＩ値
全業種	12.1	42.9	45.1	－33.0	17.6	46.2	36.3	－18.7
小売業	12.1	51.5	36.4	－24.2	21.2	36.4	42.4	－21.2
卸売業	16.7	33.3	50.0	－33.3	33.3	33.3	33.3	± 0.0
建設業	12.5	37.5	50.0	－37.5	18.8	56.3	25.0	－ 6.3
製造業	10.0	20.0	70.0	－60.0	0.0	50.0	50.0	－50.0
サービス業	11.5	46.2	42.3	－30.8	15.4	53.8	30.8	－15.4

＜ 業 種 別 の 動 き ＞

1）小 売 業 売 上 高　前期比で「増加した」と答えた企業割合が１８.２％、「減少した」と答えた企業割合が５４.５％、Ｄ・Ｉ値△３６.４となっており、来期の見通しをみると今期同様に「増加する」と答えた企業割合が２１.２％、「減少する」と答えた企業割合が５１.５％、Ｄ・Ｉ値△３０.３となっており、今期実績と比較すると５.９ポイント回復する見込みではございますが、依然厳しい状況が続くと予測しています。

資 金 繰　前期比で「好転した」と答えた企業割合は１２.１％、「悪化した」と答えた企業割合が３６.４％、Ｄ・Ｉ値△２４.２、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が２１.２％、「悪化する」と答えた企業割合が４２.４％Ｄ・Ｉ値△４２.４となっており、資金繰りについても売上の増加が見込めない中、依然として厳しい状況であると予測しています。

2）卸 売 業 売 上 高　前期比で「増加した」と答えた企業割合が０.０％、「減少した」と答えた企業割合が８３.３％、Ｄ・Ｉ値△８３.３となっており、来期の見通しをみると今期同様に「増加する」と答えた企業割合が３３.３％、「減少する」と答えた企業割合が１６.７％、Ｄ・Ｉ値＋１６.７となっており、今期実績が良くなかったためか来期については売上高の増加に明るい兆しが見えてきているようです。

資 金 繰　前期比で「好転した」と答えた企業割合は１６.７％、「悪化した」と答えた企業割合が５０.０％、Ｄ・Ｉ値△３３.３、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が３３.３％、「悪化する」と答えた企業割合が３３.３％、Ｄ・Ｉ値±０.０となっており、資金繰りについても、一部、改善されると予測しています。

3）建 設 業 完成工事高　前期比で「増加した」と答えた企業割合が６.３％、「減少した」と答えた企業割合が７５.０％、Ｄ・Ｉ値△６８.８となっており、来期の見通しをみると今期同様に「増加する」と答えた企業割合が３７.５％、「減少する」と答えた企業割合が３７.５％、Ｄ・Ｉ値±０.０となっており、今期のマイナス値と比較すると来期の工事量は増加していくと予測しています。

資 金 繰　前期比で「好転した」と答えた企業割合は１２.５％、「悪化した」と答えた企業割合が５０.０％、Ｄ・Ｉ値△３７.５、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が１８.８％、「悪化する」と答えた企業割合が２５.０％Ｄ・Ｉ値△６.３となっており、資金繰りについても工事量が増加していく兆しに対し、回復していく状況であると予測しています。

4）製　造　業　生　産　高　前期比で「好転した」と答えた企業割合は１０.０％、「悪化した」と答えた企業割合が５０.０％、Ｄ・Ｉ値△４０.０、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が１０.０％、「悪化する」と答えた企業割合が５０.０％、Ｄ・Ｉ値△４０.０となっており、今期に引き続き来期についても厳しい状況が続くと予測しています。

資　金　繰　前期比で「好転した」と答えた企業割合は１０.０％、「悪化した」と答えた企業割合が７０.０％、Ｄ・Ｉ値△６０.０、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が０.０％、「悪化する」と答えた企業割合が５０.０％、Ｄ・Ｉ値△５０.０となっており、資金繰りについても売上が見込めず、厳しい状況であると予測しています。

5）サービス業　売　上　高　前期比で「増加した」と答えた企業割合が７.７％、「減少した」と答えた企業割合が４６.２％、Ｄ・Ｉ値△３８.５となっており、来期の見通しをみると今期同様に「増加する」と答えた企業割合が１５.４％、「減少する」と答えた企業割合が３８.５％、Ｄ・Ｉ値△２３.１となっており、今期と比較すると依然マイナス値ではありますが、来期の売上については回復傾向になっていくと予測しています。

資　金　繰　前期比で「好転した」と答えた企業割合は１１.５％、「悪化した」と答えた企業割合が４２.３％、Ｄ・Ｉ値△３０.８、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が１５.４％、「悪化する」と答えた企業割合が３０.８％Ｄ・Ｉ値△１５.４となっており、資金繰りに関しても、売上が回復傾向にあるためか、明るい兆しが見えてきているようです。

※サービス業集計内訳

	飲食業				飲食以外			
	好　転	不　変	悪　化	ＤＩ値	好　転	不　変	悪　化	ＤＩ値
今期業況	0.0	27.3	72.7	－72.7	9.1	54.5	36.4	－27.3
今期売上	0.0	36.4	63.6	－63.6	13.3	53.3	33.3	－20.0
来期売上	18.2	45.5	36.4	－18.2	13.3	46.7	40.0	－26.7
今期採算	0.0	45.5	54.5	－54.5	6.7	66.7	26.7	－20.0
今期資金繰	0.0	45.5	54.5	－54.5	20.0	46.7	33.3	－13.3
来期資金繰	18.2	45.5	36.4	－18.2	13.3	60.0	26.7	－13.3

業　種　別　　経　営　上　の　問　題　点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
小　売　業	取引条件の悪化	経費増加 新型コロナウイルスによる影響		取引業者の廃業・倒産・閉鎖	事業設備の不足・老朽化
卸　売　業	経費増加	新型コロナウイルスによる影響	取引業者の廃業・倒産・閉鎖 事業資金(調達)困難		顧客需要の停滞・変化による対応
建　設　業	経費増加	人材不足	新型コロナウイルスによる影響	顧客需要の停滞・変化による対応 事業設備の不足・老朽化 同業・新規参入による競合	
製　造　業	経費増加	人材不足 新型コロナウイルスによる影響		取引業者の廃業・倒産・閉鎖 顧客需要の停滞・変化による対応	
サービス業	新型コロナウイルスによる影響	経費増加	顧客需要の停滞・変化による対応	人材不足	事業設備の不足・老朽化